

2020年2月6日

パナソニック エコシステムズ株式会社

高速酸化処理で除去が困難な鉄分も浄化

インドネシアで井戸水の生活用水向け 「セントラル水浄化機器」事業に参入 きれいな水で安心・健康的な生活に貢献



【セントラル水浄化機器】



【セントラル水浄化機器（設置）】

パナソニック エコシステムズ株式会社は、2020年4月より、インドネシアにおいて、井戸水を浄化する「セントラル水浄化機器」の販売を開始します。この機器により、井戸からくみ上げた井戸水の鉄分や濁りを除去した生活用水を提供し、インドネシアの人々の生活向上に貢献していきます。

インドネシアでは、上水道の普及率が低く、ウォーターポンプを用いてくみ上げた井戸水を生活用水として広く利用されています。当社は、1988年に、インドネシアでNational（現Panasonic）ブランドのウォーターポンプの生産を開始しました。人々の住環境や生活スタイルに対応した新製品を順次開発し、昨年4月には、生産累計3,000万台を突破。現在は、インドネシアをはじめアジア諸国、中東など、グローバルに展開しています。

インドネシアの井戸水には、鉄分や濁りなどが含まれていることが多く、井戸水を用いて洗濯した衣類が鉄分の影響で変色したり、浴槽や便器が汚れるなどの課題があり、きれいな生活用水が望まれています。これに対応するために、従来除去が難しかった井戸水の鉄分も除去する「セントラル水浄化機器」を開発しました。この「セントラル水浄化機器」は、井戸水に含まれる除去困難なイオン状の鉄分を、当社独自の高速酸化処理により除去。加えて濁りも取り除き、浄化した生活用水を建物内に供給します。また、ユーザーによるメンテナンスも簡単に行える構造とし、低コスト、低メンテナンス、省施工の水浄化システムです。

パナソニック ゴーベル ライフソリューションズ マニュファクチャリング インドネシアに事業部を新たに設置して20年3月より生産を開始。4月から販売会社であるパナソニック ゴーベル インドネシアを通じて、インドネシア国内の住宅デベロッパー向けに納入します。

セントラル水浄化機器の発売を機に、従来のウォーターポンプ事業との相乗効果を発揮し、インドネシアのさらなる生活向上に貢献します。当社はこれからも、空気・水の環境事業で暮らしを支え、快適で、健やかに過ごせる社会の実現を目指していきます。

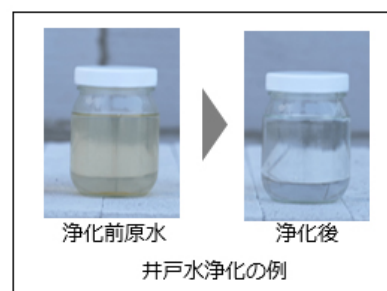
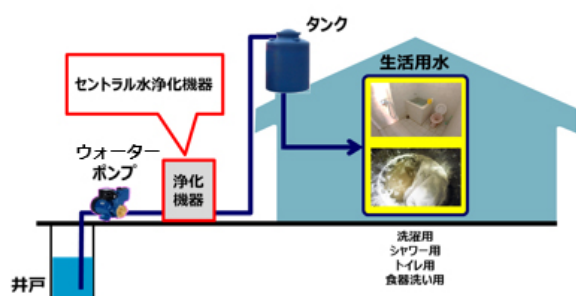
<セントラル水浄化機器の特長>

1. 幅広い水質に対応し、除去が難しかった鉄分や濁りを除去
2. 高速酸化処理方式の採用により、小型化、低価格、低ランニングコストを実現
3. ユーザによる簡易メンテナンスで長期間の性能維持が可能

セントラル水浄化機器の詳細説明

1. 幅広い水質に対応し、除去が難しかった鉄分や濁りを除去

インドネシアの井戸水には鉄分が含まれていることが多く、井戸水を使って洗濯すると服が着色されたり、浴槽や便器の汚れの原因になることがあります。当社のセントラル水浄化機器は、前処理部で当社独自の高速酸化処理により井戸水のイオン状の鉄分を粒状に変質させ、ろ過部で除去します。従来除去が難しかったイオン状の鉄分や濁りを効率的に除去することで、井戸水を浄化してきれいな生活用水として供給することが可能です。



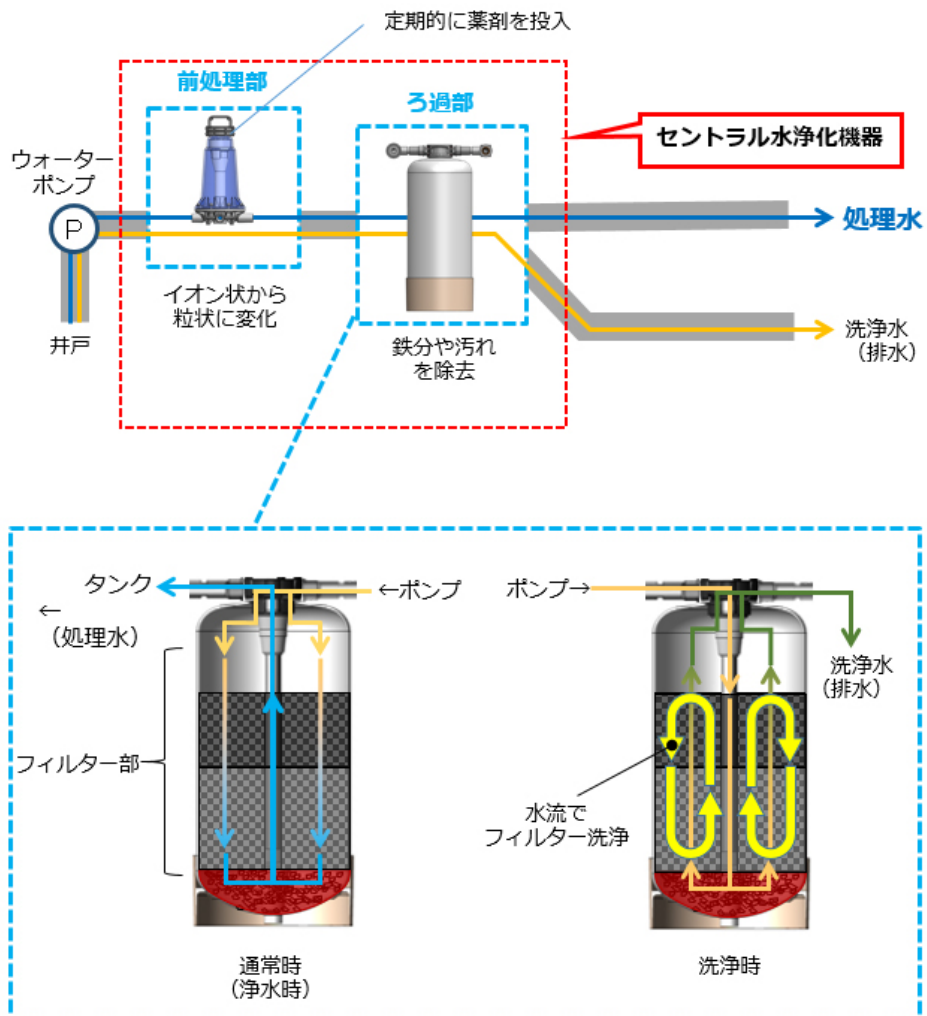
2. 高速酸化処理方式の採用により、小型化、低価格、低ランニングコストを実現

従来の水浄化装置は砂ろ過方式が主流で、きれいな水を得るために複数のろ過フィルターを連結しなければならず、設置場所の確保やイオン状物質をろ過しきれない、また専門業者によるメンテナンスが必要のためランニングコストがかかるという課題がありました。当社開発のセントラル水浄化機器は、前処理部で独自の酸化処理を行うことでイオン状鉄分を粒子化し、高速酸化処理方式を採用したろ過部でろ過することにより、従来の砂ろ過方式と比べて機器の小型化、低価格化を実現しました。また、5年間フィルター交換不要で、低ランニングコストを実現しました。

3. ユーザによる簡易メンテナンスで長期間の性能維持が可能

当社のセントラル水浄化機器はインドネシアの井戸水の幅広い水質に対応しています。また、ろ過部のフィルターを1日1回洗浄するユーザーによる簡単なメンテナンス作業によりフィルター性能を長期間維持することができ、5年間交換不要です。

セントラル水浄化機器の構成



以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。